

## 災害時の物資供給体制を強化

3/25

### プラス株式会社と「災害時における応援支援物資の供給協力に関する協定」を締結

文具やオフィス家具の製造・販売を手掛けるプラス株式会社は、防災用品の提供や地方公共団体向けの調達サービスを展開しています。今回、協定を締結することで、平常時から利用している同社の調達システムを活用し、災害時には緊急支援物資の配送要請を迅速に行うことが可能となりました。

プラス株式会社ジョインテックスカンパニーの青柳浩三東海支社長は「本協定が町民の皆さまの安心につながれば」と話し、町長は「災害時の支援体制が整い、住民の安全と暮らしを守る力が一層強化された」と感謝の意を述べました。



藺田町長と青柳東海支社長

## 味わいを楽しみながら広がる交流

4/10

### 川根高校の新生23名が川根茶を通して交流を深めました

川根高校の新生23名が、フォーレなかかわね茶茗館で呈茶体験を行いました。この取り組みは、町の特産品である川根茶に親しむとともに、新入生同士の交流を深めることを目的に毎年実施されています。

会場では、一煎目、二煎目、三煎目と変わる味わいに驚く姿や、お互いの好みの味を話す場面も見られました。お茶を囲むひとときを通して自然と会話が生まれ、和やかな雰囲気の中でクラスのつながりが育まれている様子が伺えました。



笑顔で川根茶を楽しむ生徒たち

## 県茶手揉大会 2位入賞

4/17

### 川根支部が全国大会出場も決定

静岡県茶手揉保存会川根支部が、県茶手揉技術競技大会で2位に入賞しました。今秋、藤枝市で行われる全国大会への出場も決まっています。大会には3名のチームで挑み、メンバーの棚森貢さんは「楽しくやれば疲れなんて感じない」と笑顔で語りました。川根支部の手揉み製茶「川根揉切流」は、繊細な川根茶の香味を最大限に引き出すため最小限の熱と圧力で揉み上げます。

同支部は、毎年行われる献茶式で献上する茶の製造や、フォーレなかかわね茶茗館で毎月開催する手揉み体験を通じ、技術の向上と将来への継承に取り組んでいます。



献茶式用の新茶の製造をする棚森さん